

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成25年12月12日 (2013.12.12)

【公開番号】特開2011-45989(P2011-45989A)

【公開日】平成23年3月10日 (2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-010

【出願番号】特願2010-166171(P2010-166171)

【国際特許分類】

B 2 6 D 7/06 (2006.01)

B 2 6 D 7/01 (2006.01)

【F I】

B 2 6 D 7/06 E

B 2 6 D 7/01 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月27日 (2013.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

用紙束を断裁すべく移動可能に設けられた刃物と、
用紙束が載置されるべき載置面を有する載置テーブルと、
載置された用紙束が断裁されるべき断裁位置と、断裁位置よりも前記刃物の刃先が移動する刃先移動面から離間した退避位置と、の間に前記載置テーブルを移動させるテーブル移動手段と、

断裁位置から退避位置に退避し再び断裁位置に進出する間に、前記載置テーブルに載置された用紙束の断裁すべき個所を切り替えるよう前記載置テーブルを回転させる回転機構と、

前記載置テーブルの移動方向に沿って設けられ、前記テーブル移動手段を支持するフレームと、を備え、

前記回転機構は、前記載置テーブルと共に移動および回転するように設けられた前記回転部材と、

前記フレームに支持されるとともに、移動中の前記回転部材と噛み合うことにより、前記回転部材を回転させる噛合部材と、

を有することを特徴とする断裁装置。

【請求項 2】

断裁位置と退避位置との間に前記載置テーブルが移動しているときに前記回転部材と噛み合う噛合位置と、断裁位置と退避位置との間に前記載置テーブルが移動しても前記回転部材と噛み合わない非噛合位置と、の間に前記噛合部材を進退させる噛合切替機構をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の断裁装置。

【請求項 3】

回転する前記載置テーブルを所定の周方向位置でロックするロック機構をさらに備え、
前記回転部材は、前記噛合部材に噛み合って回転しているときに前記ロック機構によって前記載置テーブルがロックされた場合、前記載置テーブルに対し空転するよう設けられることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の断裁装置。

【請求項 4】

前記載置テーブルとともに回転する被検知部材と、
前記被検知部材を検知することにより前記載置テーブルの回転方向の位置を検知するセンサと、を備えることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の断裁装置。

【請求項 5】

前記被検知部材は、前記載置テーブルの回転中心に対し径外向きに突出する突出部を有し、

前記センサは、前記テーブル移動手段による載置テーブルの移動方向に平行かつ、載置テーブルの移動範囲の一方側サイドに並んだ位置に光軸を有する光センサであり、

前記載置テーブルが回転することにより、前記突出部が前記一方側サイドにきたときに、前記光センサがこの突出部を検知するように配置されることを特徴とする請求項 4 に記載の断裁装置。

【請求項 6】

前記被検知部材は、前記載置テーブルの回転中心を中心とした円周上に 1 か所設けられた被検知部を有し、

前記センサは、前記テーブル移動手段による載置テーブルの移動方向と同方向に移動しながら前記被検知部を検知することを特徴とする請求項 5 に記載の断裁装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記載置テーブルとともに回転する被検知部材と、前記被検知部材を検知することにより前記載置テーブルの回転方向の位置を検知するセンサと、を備えていてもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記被検知部材は、前記載置テーブルの回転中心に対し径外向きに突出する突出部を有し、前記センサは、前記テーブル移動手段による載置テーブルの移動方向に平行かつ、載置テーブルの移動範囲の一方側サイドに並んだ位置に光軸を有する光センサであり、前記載置テーブルが回転することにより、前記突出部が前記一方側サイドにきたときに、前記光センサがこの突出部を検知するように配置されていてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

前記被検知部材は、前記載置テーブルの回転中心を中心とした円周上に 1 か所設けられた被検知部を有し、前記センサは、前記テーブル移動手段による載置テーブルの移動方向と同方向に移動しながら前記被検知部を検知するようにしてもよい。